NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2025 年 2 月 10 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

「水素の森」プロジェクト実証フィールド「SUISO no MORI hub」オープニングセレモニーを開催
～水素社会・炭素循環型社会の実現に向け、スタートアップとの共創をスタート～

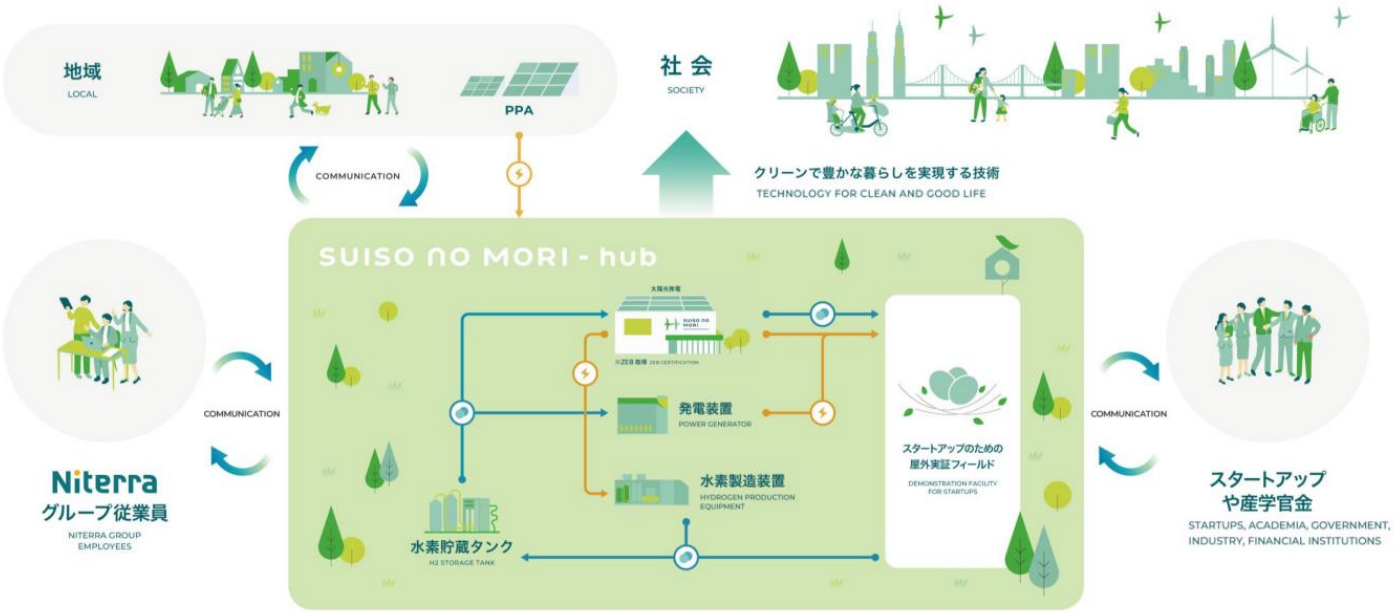
Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区）は、水素社会・炭素循環型社会の早期実現を目指す「水素の森」プロジェクトにおける実証フィールド「SUISO no MORI hub」（所在：愛知県小牧市、当社小牧工場内）を開設し、2 月 3 日（月）にご来賓、関係者ご参列のもとオープニングセレモニーを執り行いましたので、お知らせします。

「SUISO no MORI hub」は、水素・炭素循環関連技術の実証の場としてスタートアップが活用すると同時に、当社グループとスタートアップ、産学官金、地域社会との相互コミュニケーション、共創の場となります。「SUISO no MORI hub」を起点に、水素・炭素循環に関連する技術の社会実装を目指します。

■実証フィールド「SUISO no MORI hub」について

当社グループは、「水素と炭素循環を、これからの地球へ。」をコンセプトとした、水素・炭素循環に特化したファンドによる投資支援と、実証フィールドによる技術開発・成長支援をスタートアップへ行う「水素の森」プロジェクトを 2024 年 5 月に開始しました。

このたび開設した実証フィールド「SUISO no MORI hub」は、総敷地面積 5,000 ㎡の中に屋内外の実証エリアや水素・再生エネルギーを利用できる環境、オフィスエリアを整え、スタートアップが持つアイデアや技術の検証・開発を行うことができるよう支援していきます。2 月からスタートアップが入居し、活動を開始しています。



名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

オフィスエリアとなる建屋は「つながる・ひろがる・めぐりあう」をコンセプトに設計され、レイアウト変更が可能なフレキシビリティを持っています。今後、スタートアップや地域の方々とのコミュニケーションやつながりを図るため、社内・社外を対象としたセミナーやピッチなどイベントの開催にも活用していく予定です。

また、この建屋は、当社グループが技術開発に取り組むセラミックスの力で除湿する「デシカント空調機」の導入による省エネと、屋上に設置した太陽光パネルによる創エネによって、当社グループとして初めて ZEB 認証*を取得しました。

今後、当社グループが開発に取り組む SOFC や SOEC、CO_2回収装置の導入を予定しており、エネルギー供給および技術の検証を進めていきます。

＊ZEB……Zero Emission Building、年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物



建屋外観

■「SUISO no MORI hub」概要

名称　　：　SUISO no MORI hub
所在地　　：　愛知県小牧市大字岩崎 2808（日本特殊陶業 小牧工場内）
敷地総面積：　約 5,000 ㎡ ※実証試験場・水素インフラ供給スペースなどを含む
建築面積　：　約 500 ㎡（鉄骨 2 階建て）
延床面積　：　約 600 ㎡

■オープニングセレモニーについて

2 月 3 日（月）に「SUISO no MORI hub」で開催したオープニングセレモニーには、ご来賓の愛知県 大村秀章知事、小牧市 山下史守朗市長をはじめ、「水素の森」プロジェクトの運営パートナーであるグローバル・ブレイン株式会社（代表取締役社長 百合本安彦）様や本プロジェクトに参画するスタートアップの皆さま、関係者の皆さまなど総勢約 60 名にご参列いただきました。主催者を代表して挨拶に立った当社代表取締役社長 川合は「1 社では水素社会・炭素循環型の実現は難しい。スタートアップや地域の方々とつながることでアイデアや熱量を得て、事業につなげ、社会に貢献し、地球を輝かせる企業を目指していく」と述べました。

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル



挨拶に立つ当社代表取締役社長 川合



テープカットの様子（写真奥から、当社代表取締役副社長 松井、当社代表取締役社長 川合、当社代表取締役会長 尾堂、愛知県 大村知事、小牧市 山下市長、当社執行役員 北河）

当社グループは「水素の森」プロジェクトから生まれるオープンイノベーションによって、スタートアップが持つユニークな技術と当社グループが培ってきた技術やノウハウのそれぞれを活かし、社会の実装へとつなげ、水素・炭素循環関連産業の発展の一翼を担うことを目指します。今後も社会的課題の解決と経済的成長を両立させる事業・サービスの創出によって、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

名古屋市東区東桜一丁目 1 番 1 号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

■「水素の森」プロジェクトについて

「水素と炭素循環を、これからの地球へ。」をコンセプトに 2024 年 5 月に開始した、水素社会・炭素循環型社会の早期実現を目指すプロジェクト。ベンチャーキャピタルのグローバル・ブレイン株式会社（代表取締役社長 百合本安彦）と共同で設立したコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）ファンド（水素の森投資事業有限責任組合、呼称：Niterra 水素の森ファンド）を通じて、水素・炭素循環に関連するスタートアップへの投資支援を行うとともに、同テーマに特化した敷地総面積 5,000 ㎡の実証フィールドを当社小牧工場（愛知県小牧市）内に設置し、スタートアップの技術開発・成長支援を行います。

※詳細は以下をご参照ください

水素社会・炭素循環型社会の実現に向けた「水素の森」プロジェクトを始動（2024 年 5 月 21 日）

※プロジェクトの最新状況は以下、水素の森 WEB サイトをご参照ください。

https://niterra-suisonomori.com/

CVC ファンドからスタートアップの bitBiome 社へ出資（2025 年 1 月 17 日）

実証フィールド「SUISO no MORI hub」へスタートアップ 5 社が入居（2025 年 1 月 31 日）

以上